

---

---

取扱説明書

9538

SCSI インタフェース

9606

データ変換ユーティリティ

日置電機株式会社

---

---



---

## はじめに

このたびは、HIOKI 9538 SCS I インタフェース, 9606 データ変換ユーティリティをご選定いただき、誠にありがとうございます。この製品を十分にご活用いただき、末長くご使用いただくためにも、取扱説明書はていねいに扱い、いつも手元に置いてご使用ください。

---

### 1. 概要

- ・ 9538 SCS I インタフェースを使用して、パソコンと 8845 または 8846 を接続することにより、パソコンから本体ドライブを利用することができます。
- ・ 9606 データ変換ユーティリティを用いて、8845 または 8846 で測定した波形データを、パソコン上で観測およびテキストファイル等に変換・保存することができます。

---

## 2. 仕様

### (1) 9538 SCSIインタフェース

#### (a) 一般仕様

SCSI : ANSI X3.131-1986 (SCSIレベル2)

JIS X6051 (SCSIレベル2)

ドライバ/レシーバ: シングルエンド型

バスパリティ: 出力データ なし

入力データ なし

データ転送方式: 非同期転送

ターミネータ: あり (取り外し不可)

ターミネータパワー: あり

イニシエータ動作: 不可 (ターゲットとしてのみ動作)

ID番号: 本体 6 (固定)

DDS 5 (固定: 8845)

MO 4 (固定: 8846)

#### (b) 電氣的仕様

入力信号: レシーバ ヒステリシス付CMOSレシーバ

入力信号レベル: LOWレベル DC0~0.8V

HIGHレベル DC2.0~5.25V

最大負荷電流:  $\pm 10\mu\text{A}$  (ターミネータ含まず)

最小ヒステリシス幅: DC0.2V

出力信号: ドライバ オープンドレイン型CMOSドライバ

出力信号レベル: LOWレベル DC0~0.8V

HIGHレベル DC2.0~5.25V

ドライバシンク電流: 48mA

ターミネータパワー信号: 出力電圧 DC4~5.25V

最大出力電流 1.2A

#### (c) コネクタ仕様

推奨コネクタ

使用ソケット: DDK製 DHA-RC50-R131N

(50ピンハーフピッチシールドコネクタ)

適合プラグ: DDK製 DHA-PA50-3G相当

(50ピンハーフピッチシールドプラグ)

## (2) 9606データ変換ユーティリティ

## (a) 一般仕様

種 類 : 3.5 インチ 2HD フロッピーディスク  
 動作環境 : Windows 95  
 および Windows 95 で動作保証されている S C S I インタフェース

## (b) 機能仕様

データ変換 : 8845 DDS 波形ファイルのデータ変換  
 8846 MO 波形ファイルのデータ変換  
 部分保存可能 波形ウインドウで指定  
 間引き保存可能 1 ~ 10000 データで指定可能  
 変換形式 テキスト形式  
 CSV 形式  
 DADiSP 形式  
 バイナリ形式 ( 8845 のみ )

波形アウトライン表示 : 8845 DDS 波形ファイルの波形表示可能  
 8846 MO 波形ファイルの波形表示可能  
 表示チャンネル指定可能  
 縮小率指定可能  
 各チャンネルの拡大表示、ポジション移動、表示色指定可能  
 電圧値のトレース可能  
 波形画面のクリップボードへの転送可能

ファイル情報表示 : 8845 DDS ファイルのファイル情報表示可能  
 8846 MO ファイルのファイル情報表示可能  
 表示項目 ファイル名、タイトル、ファンクション、時間軸、  
 記録長、トリガ時刻、保存状況

## 3. 使用上の注意

**警告**

9538 S C S I インタフェースは本体と絶縁されていません。  
 ( G N D 共通です。 ) 必ず本体の接地端子をアースに接続してご使用  
 ください。接続しないで使用しますと、 S C S I インタフェースの  
 G N D および本体の金属露出部分が電位を持つ恐れがあり危険で  
 す。

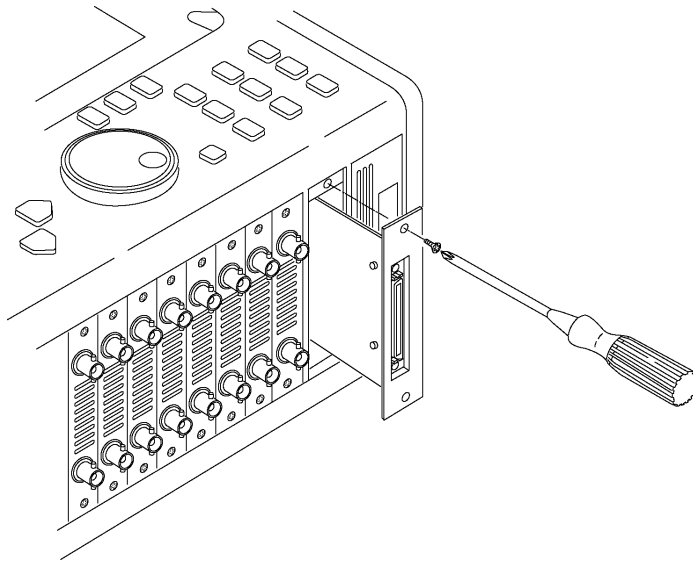
**注意**

9538 S C S I インタフェースは、8845 および 8846 メモ  
 リハイコーダのオプション品です。必ず 8845 または 8846 に  
 装着してご使用ください。装着しない場合は、必ずブランクパネルを  
 装着してください。

## 4. 交換方法

- ・ 9538 SCS I インタフェースの交換方法について説明します。
- ・ ここでは、ユニットを装着する方法を説明します。
- ・ 取り外しは、装着の逆の手順で行います。

1. すべての入力コードおよび熱電対を外します。
2. 本体の電源をOFFにして、電源コードを抜きます。
3. 拡張用スロットにユニットを差し込みます。
4. 図に従い、固定ネジを+（プラス）ドライバーで締めます。



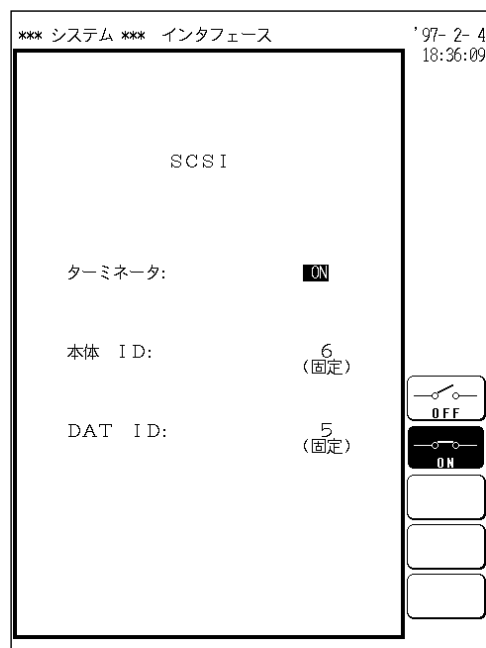
### 警告

- ・ 感電事故を避けるため、ユニットの脱着は、本体電源をOFFにし、すべての入力コードと電源コードを外して行ってください。
- ・ ネジ止めはしっかりと行ってください。(ネジ止めをしっかりと行わないと、故障の原因になったり、仕様を満足しないことがあります。)

## 5. S C S I のターミネータの設定

- ・本体でターミネータの設定をします。
- ・本体に 9 5 3 8 S C S I インタフェースが装着されている時に設定できます。
- ・ 8 8 4 5 , 8 8 4 6 単体で使用する時は「ON」、パソコンと接続する時は「OFF」にします。

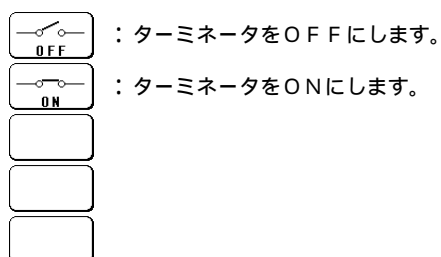
### 設定方法 (画面：システム (インタフェース))



( 8 8 4 5 での表示 )

- 1 . S Y S T E M キーを押して、システム画面にします。
- 2 . 「インタフェース」のファンクションキーを押し、インタフェースの設定の画面を表示します。
- 3 . 「ターミネータ」の項目に点滅カーソルを移動し、ファンクションキーで選択します。

( F . K E Y 表示 ) : ( 選択内容 )



### 注記

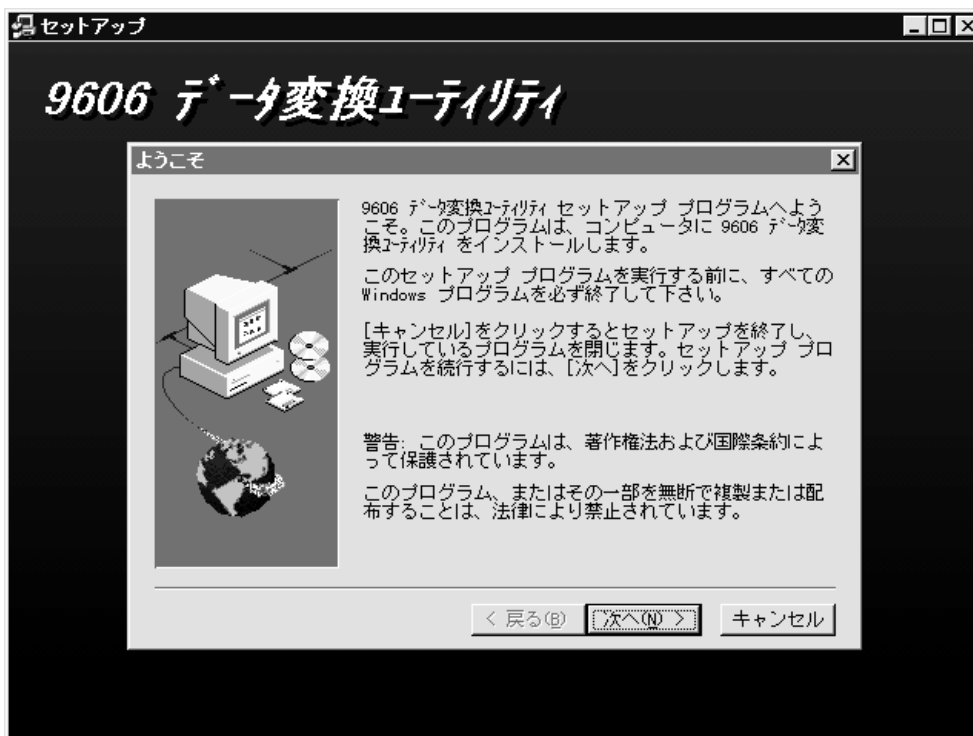
- ・パソコンと接続し、9 6 0 6 データ変換ユーティリティを使用して、本体の D A T ドライブまたは M O ドライブを操作する時は、本体を以下の画面にしないでください。
  - ・ D A T 画面または M O 画面
  - ・システム画面の「インタフェース」( S C S I 設定画面 )

## 6. データ変換ユーティリティの使用法

### 6.1. 概要

9606 データ変換ユーティリティは、HIOKI 8845 および 8846 メモリハイコーダにて記録・保存した波形データを、PC 画面にアウトライン表示および各種データ形式でハードディスク等へ保存するためのソフトウェアです。

### 6.2. Windows 95 へのインストール



- 手順 1 . 9606 データ変換ユーティリティのディスクをいずれかのドライブへセットします。
- 手順 2 . コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]アイコンを開き、[セットアップと削除]タグの[セットアップ]ボタンをクリックします。
- 手順 3 . 画面のメッセージに従って操作すると、9606 データ変換ユーティリティセットアップ画面が表示されます。あとは、画面の指示に従ってください。

9606 データ変換ユーティリティを起動するには、タスクバーの[スタート] [プログラム] [HIOKI] [9606 データ変換ユーティリティ]の順に選択します。



## 6.3. 基本的な操作方法

### 基本画面と各部の名称

The screenshot shows the HIOKI 9606 Data Conversion Utility software interface. The window title is "HIOKI 9606 データ変換ユーティリティ". The menu bar includes "ファイル(F)", "DAT(D)", "波形(W)", "表示(V)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains icons for OPEN, LIST, INFO, WAVE, SAVE, OPT, EVENT, and EXIT. The main window is divided into several sections:

- メニューバー** (Menu Bar): Located at the top left, pointing to the menu items.
- ツールバー** (Toolbar): Located below the menu bar, pointing to the icons.
- ファイル情報ウィンドウ** (File Information Window): Located on the left side, containing file details.
 

ファイル情報 Sample	
ファンクション	メモリ 波形
タイトル	
時間軸	1 msec
記録長	100 DIV
トリガ時刻	1997-03-02 14:55:20
CH 1 - 3 - 5 - 7 -	
CH 9 - 11 12 13 14 15 16	
- ファイルリストウィンドウ** (File List Window): Located on the right side, containing a table of files.
 

ファイル名	モード	保存日時	サイズ (kB)
Sample	メモリ 波形	1997-03-02 14:56:07	228
- 波形ウィンドウ** (Waveform Window): Located in the center, displaying a waveform graph on a grid. The x-axis ranges from -20 to 15, and the y-axis ranges from -1 to 1. The graph shows several overlapping waveforms.
- ステータスバー** (Status Bar): Located at the bottom, containing the following information:
  - 波形ページ (現在のページ / 全ページ): 1 / 1
  - DATドライブの状態: UNLOCK
  - ファイル数・トータルファイルサイズ: 1個 (228kB)
  - 現在の日付と時刻: 97/12/10 9:36

## 操作メニュー



## [ファイル] [ファイルを開く]

本プログラムにより、バイナリ形式でハードディスク等に保存した 8 8 4 5 波形ファイル、または 8 8 4 6 波形ファイルを開きます。(複数選択できます)

バイナリファイル一覧



## [ファイル] [ファイル情報]

ファイル情報ウィンドウに、選択中のファイルの簡易情報を表示します。



## [ファイル] [保存]

選択中のファイルまたは波形表示中のファイルを各種データ形式でハードディスク等に保存します。

## 対応データ形式

フォーマット	概要
バイナリ形式 ( 8 8 4 5 のみ)	変換しないそのままの形式です。部分セーブはできません。 [ファイル] [ファイルを開く]で開くことができます。
テキスト形式	テキスト形式に変換します。 一般的なエディタ等で見ることができます。
CSV 形式	CSV 形式に変換します。 Excel 等の表計算ソフトで直接読み込めます。
DADiSP 形式	DADiSP 形式に変換します。 DADiSP で直接読み込めます。



## [ファイル] [アプリケーションの終了]

9 6 0 6 データ変換ユーティリティを終了します。



## [DAT] [リスト]

DDS テープのファイルリストを取得します。

各ヘッダをクリックすると項目に応じてファイルリストを並び替えます

ファイル名	モード	日付	時刻	サイズ (kB)
<input checked="" type="checkbox"/> MEM Sample	メモリ 波形	1997-04-23	15:07:43	52
<input checked="" type="checkbox"/> IREC-001	レコーダ 波形	1997-04-23	15:14:34	6270
<input checked="" type="checkbox"/> FFT Transfer	FFT 波形	1997-04-23	15:19:03	44

- ・ ファイル名をマウス左ボタンダブルクリックによりファイル情報を表示します
- ・ さらにダブルクリックすると波形アウトラインを表示します



## [DAT] [テープ操作] [イジェクト]

DDS テープを取り出します。

## [DAT] [テープ操作] [ファイル消去]

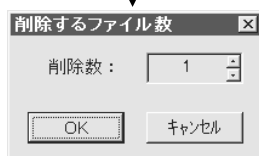
DDS テープのファイルを消去します。(操作手順を以下に示します)

### 注記

- ・ DDS テープの性質上、最後に記録したファイルからしか削除できません。
- ・ 一度削除したファイルは復活できません。注意してください。

ファイル名	モード	日付	時刻	サイズ (kB)
<input checked="" type="checkbox"/> MEM Sample	メモリ 波形	1997-04-23	15:07:43	52
<input checked="" type="checkbox"/> IREC-001	レコーダ 波形	1997-04-23	15:14:34	6270
<input checked="" type="checkbox"/> FFT Transfer	FFT 波形	1997-04-23	15:19:03	44

1. DDS テープのファイルリストを取得します



2. 消去するファイル数を入力します

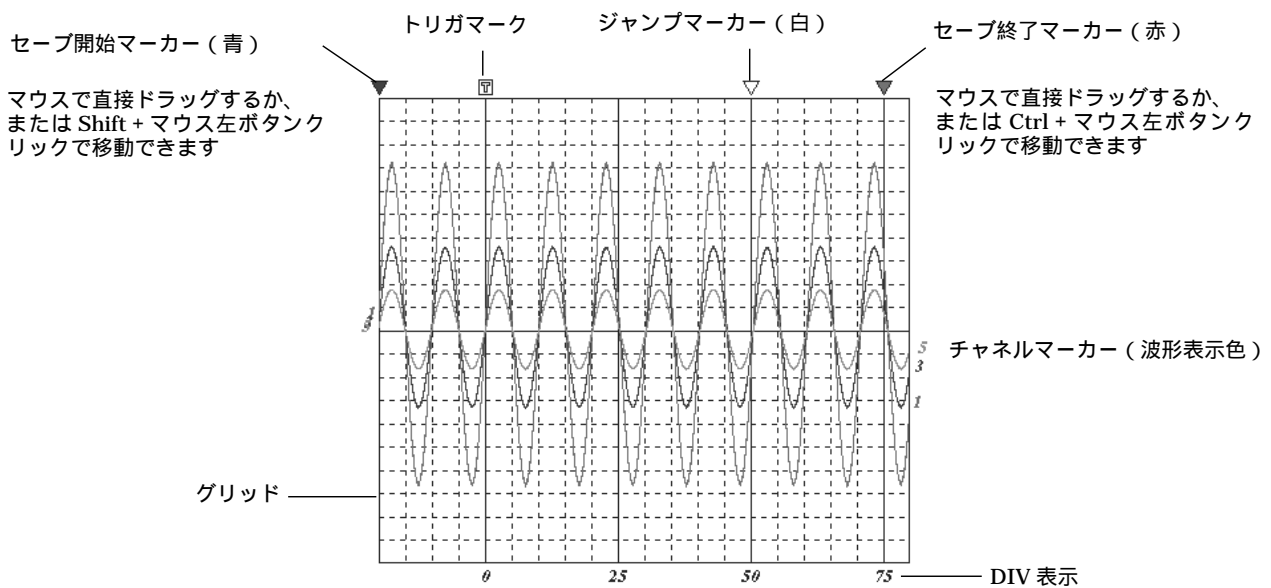


3. 消去後のファイルリストを確認し[続行]ボタンを押してください。ファイルの消去が実行されます



## [波形] [波形アウトライン]

選択中のファイルの波形アウトラインを表示します。



## [波形] [次ページ]

表示中の波形アウトラインの次のページを表示します。



## [波形] [前ページ]

表示中の波形アウトラインの前のページを表示します。

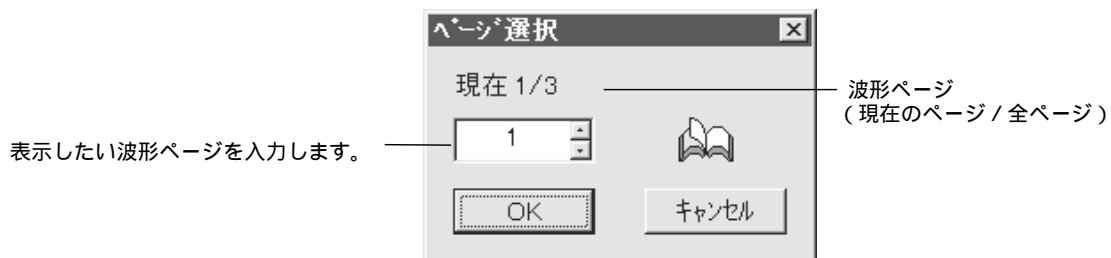


## [波形] [ページセレクト]

指定したページの波形アウトラインを表示します。

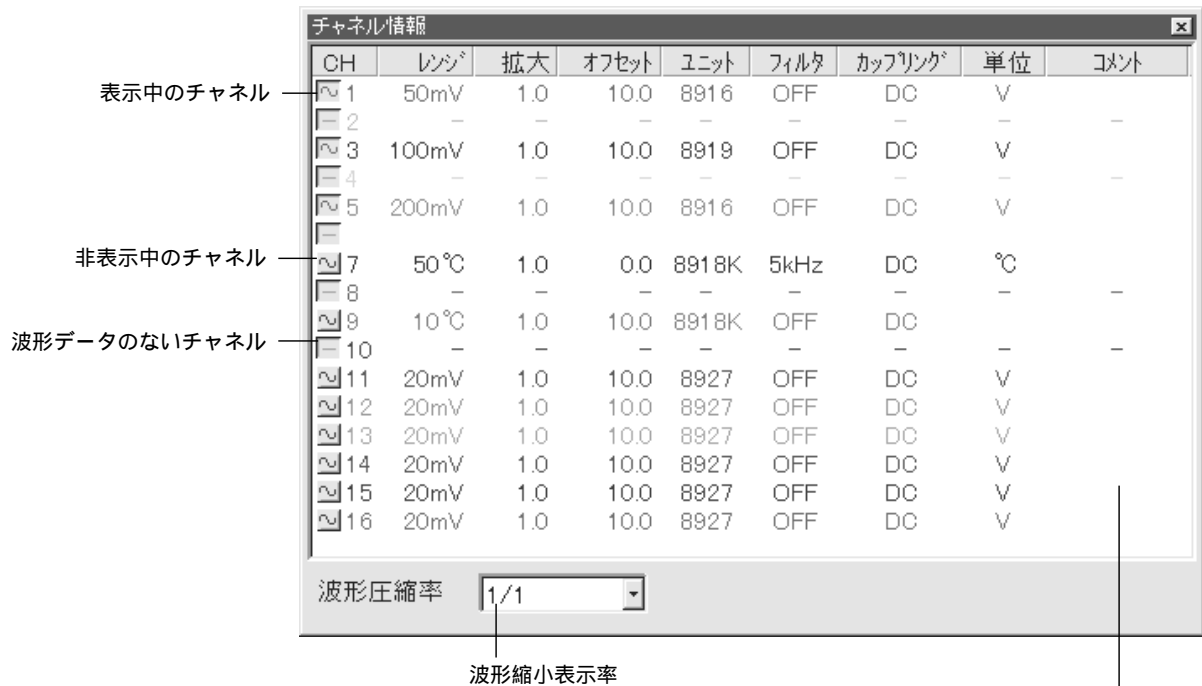
・ 波形の「ページ」とは・・・

メディアに記録された大きな波形ファイルを一度に読み込むことができないため、「ページ」として分割して読み込めるようにしたものです。



## [波形] [チャンネル情報]

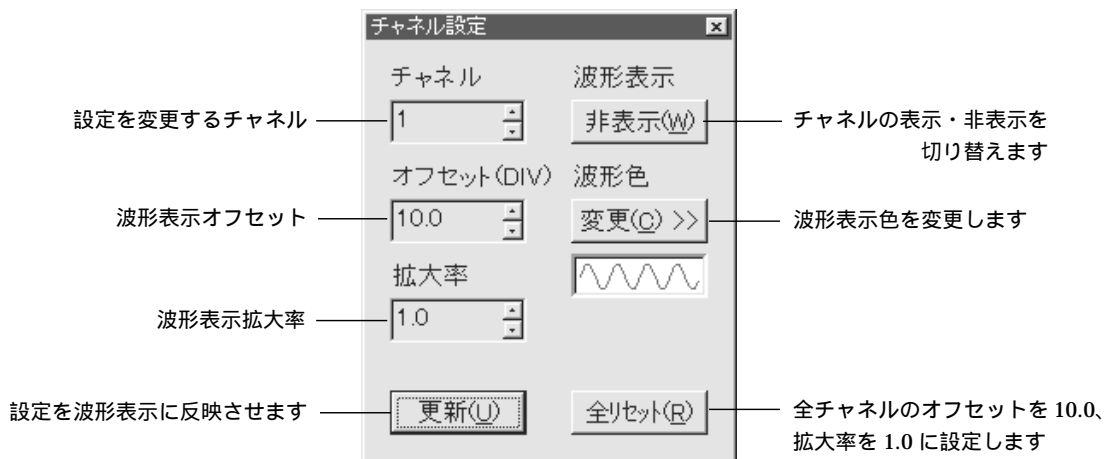
表示中の波形アウトラインのチャンネル情報ウィンドウを表示します。



- ・ マウス左ボタンダブルクリックでそのチャンネルの波形の表示・非表示を切り替えます
- ・ マウス右ボタンクリックでそのチャンネルのチャンネル設定ウィンドウが開きます

## [波形] [チャンネル設定]

表示中の波形アウトラインのチャンネル設定ウィンドウを表示します。



## [波形] [ジャンプ] [セーブ開始位置]

波形セーブ開始位置へジャンプします。

## [波形] [ジャンプ] [セーブ終了位置]

波形セーブ終了位置へジャンプします。

## [波形] [ジャンプ] [時間指定]

時間指定ジャンプウィンドウを表示します。



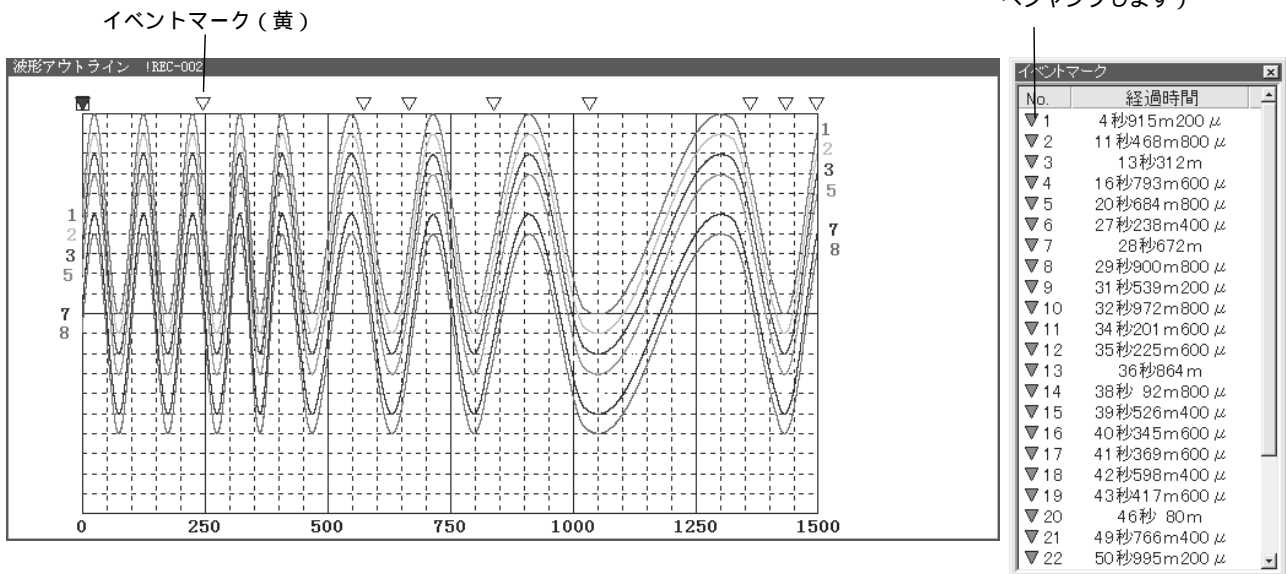
## [波形] [ジャンプ] [イベントマーク]

イベントマークウィンドウを表示します。

### 注記

・レコーダファンクションでイベントマークを挿入した波形のみ行えます。

全イベントマークリスト  
(マウス左ボタンダブルクリックでそのイベントマークへジャンプします)



## [波形] [縮小表示]

波形アウトライン表示の縮小率を指定します。

設定可能な縮小率：×1/100 ×1/50 ×1/20 ×1/10 ×1/5 ×1/2 ×1/1 ×5

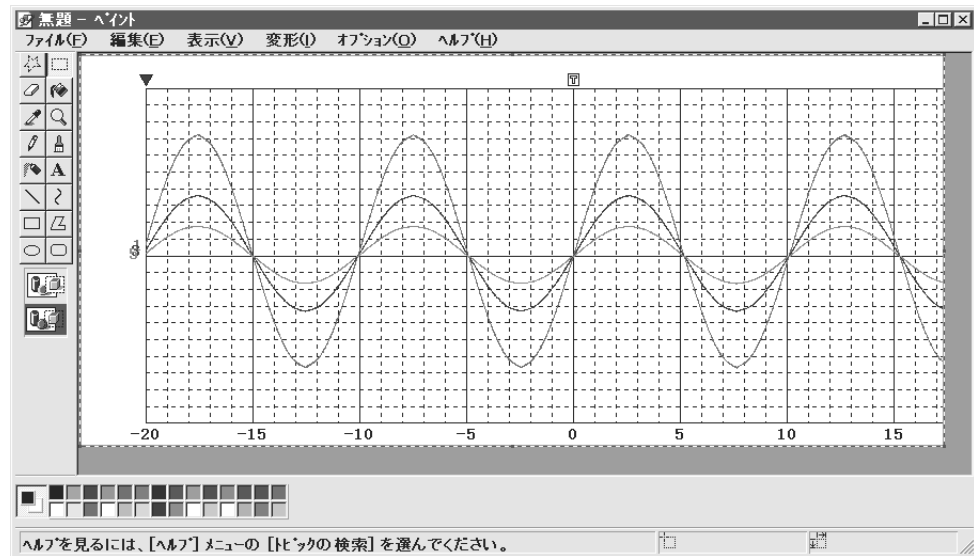
### 注記

・300DIV以上の波形データでは×5の設定はできません

### [波形] [画面のハードコピー]

波形ウィンドウのハードコピーをクリップボードにコピーします。

コピーした画面データは他のアプリケーションで[編集] [貼り付け]を実行することでコピーできます。



(ペイントに貼り付けた例です)

### [表示] [ツールバー]

ツールバーの表示・非表示を切り替えます。

### [表示] [ステータスバー]

ステータスバーの表示・非表示を切り替えます。



### [表示] [オプション]

設定画面を表示します。

### [ヘルプ] [バージョン情報...]

9 6 0 6 データ変換ユーティリティのバージョン情報を表示します。

## 【操作例 1】

・ DDS テープのメモリ波形データを CSV 形式でファイルに保存します。

1. 設定の DAT タグにおいて使用する DAT ドライブを選択します。  
(メニュー[表示] [オプション])



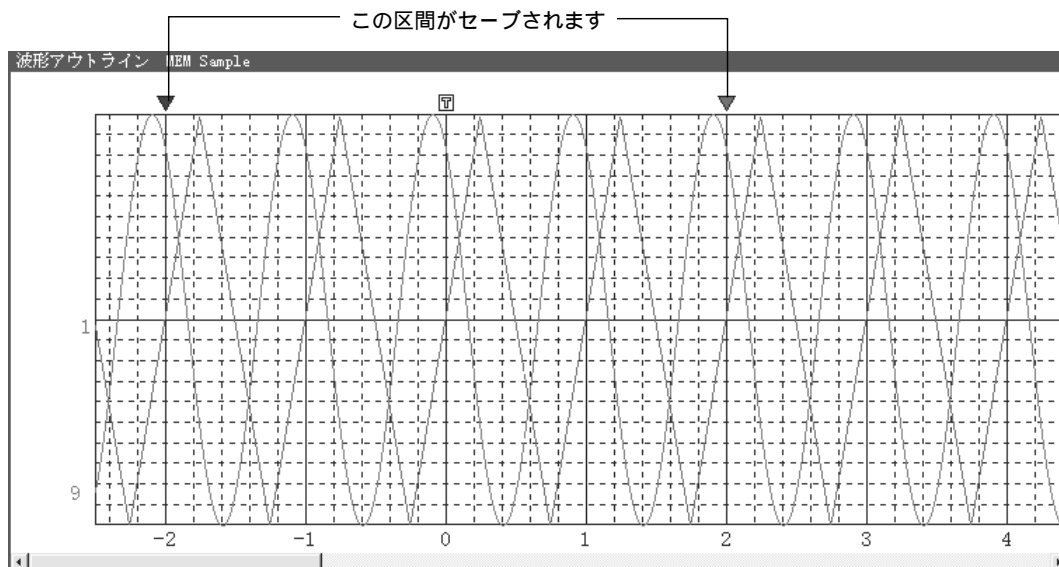
2. 選択した DAT ドライブに DDS テープを挿入します。
3. ファイルリストを取得します。(メニュー[DAT] [リスト])

ファイル名	モード	日付	時刻	サイズ (kB)
<input checked="" type="checkbox"/> MEM Sample	メモリ 波形	1997-04-23	15:07:43	52
<input checked="" type="checkbox"/> IREC-001	レコーダ 波形	1997-04-23	15:14:34	6270
<input checked="" type="checkbox"/> FFT Transfer	FFT 波形	1997-04-23	15:19:03	44

4. 波形を表示させたいファイルを選択し、波形アウトラインを表示します。  
(メニュー[波形] [波形アウトライン])  
必要に応じてセーブ開始位置と終了位置を移動します。

## 【注記】

・ デフォルトでは、開始位置は波形の最初、終了位置は波形の最後です。



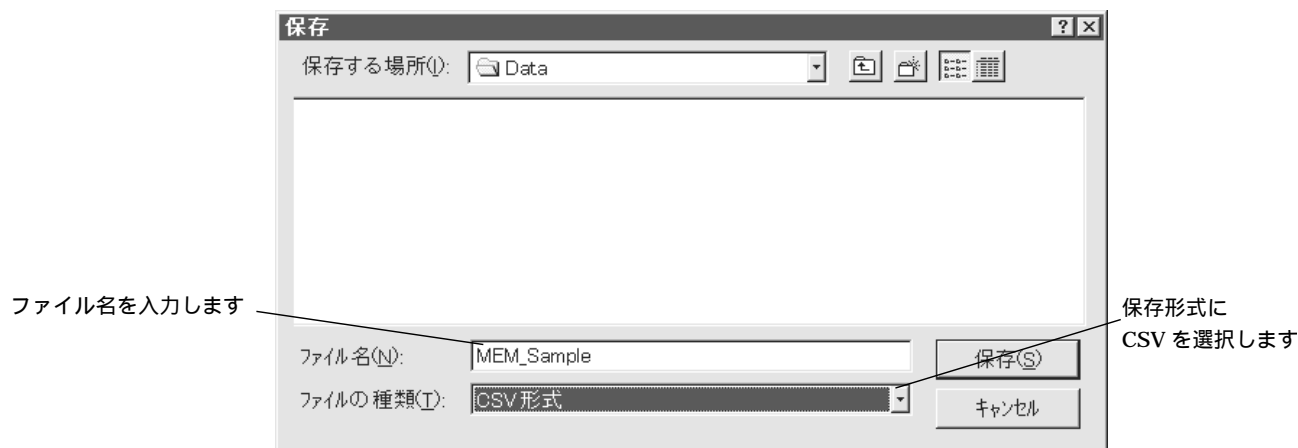
## 6. データ変換ユーティリティの使用法



5. 波形ファイルをハードディスクに CSV 形式で保存します。

(メニュー[ファイル] [保存])

(1) ファイル名を入力し、保存形式を選択します。

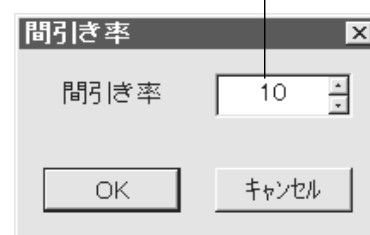


(2) [保存]をクリックすると、セーブチャンネル選択画面が表示されます。セーブするチャンネルを選択し、間引き率を入力します。

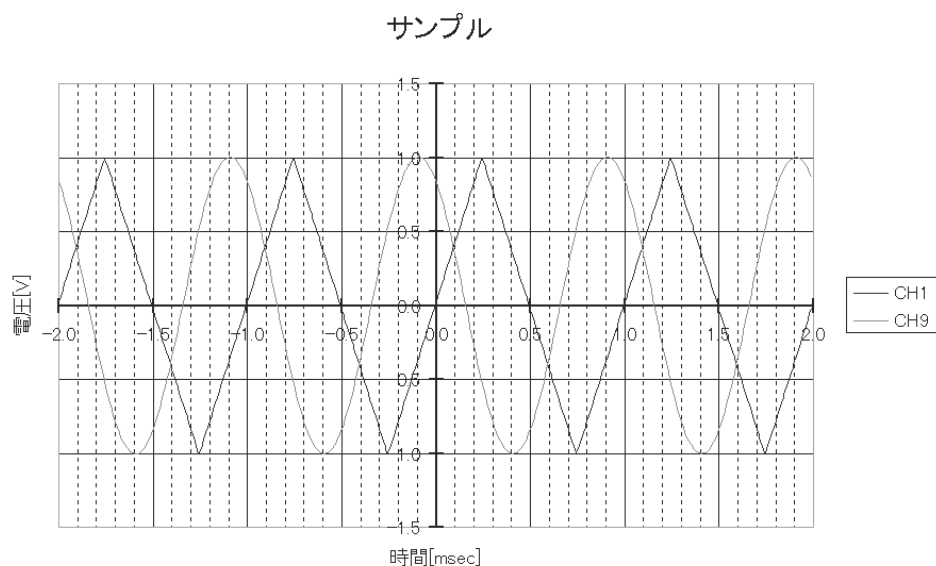
デフォルトでは表示中のチャンネルが選択されます



間引き率入力します



(3) [OK]で保存が実行されます。



(ハードディスクに保存したファイルを MS-Excel で読み込み、グラフにした例です)

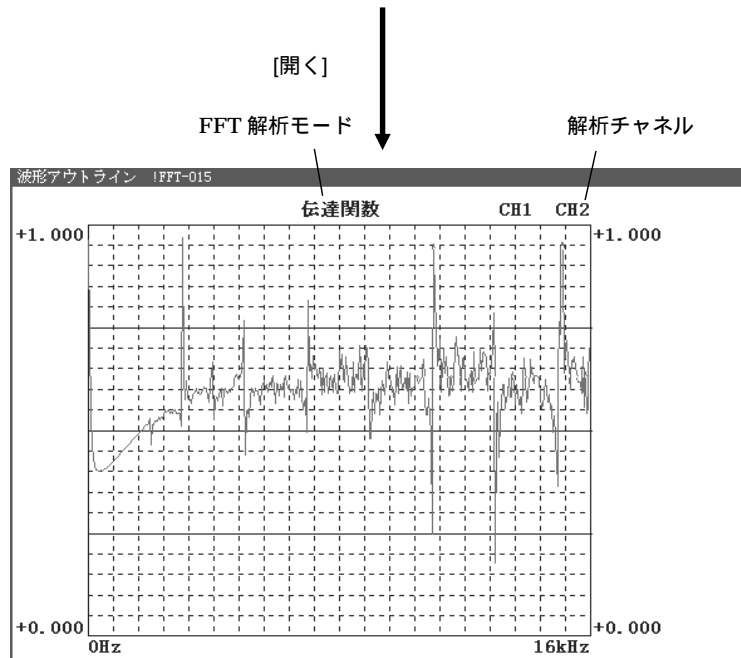
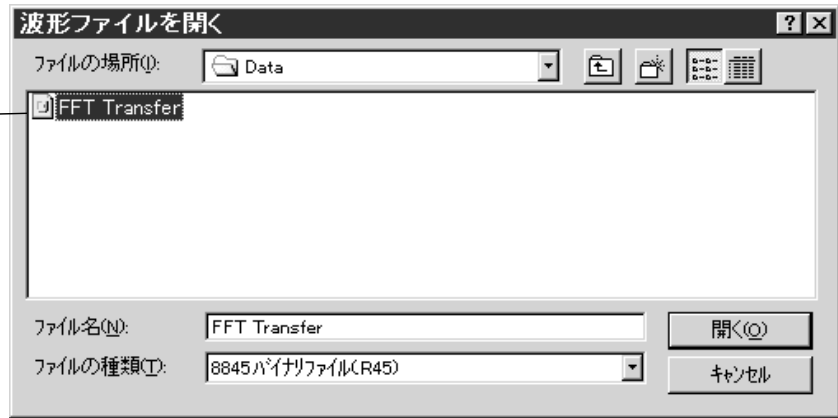
6. データ変換ユーティリティの使用法

## 【操作例 2】

- ・ハードディスクの FFT 波形ファイルから CSV 形式でファイルに保存します。

1 . 波形ファイルを開きます。(メニュー[ファイル] [ファイルを開く])

バイナリ形式で保存されたファイル  
リストが表示されます



## 2. 波形データをハードディスクに CSV 形式で保存します。

(メニュー[ファイル] [保存])

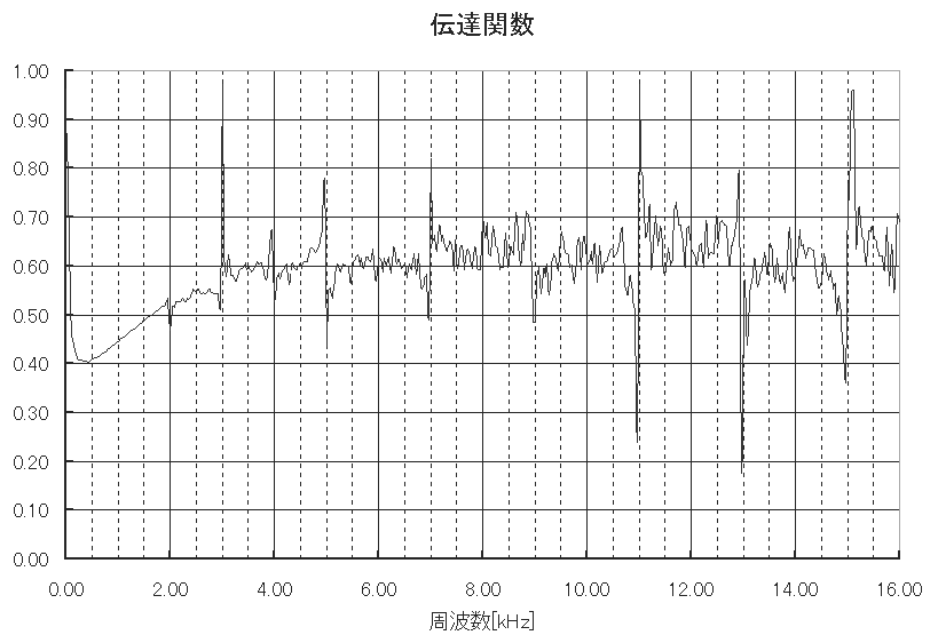
### (1) ファイル名を入力し、保存形式を選択します。

#### 注記

- ・ FFT 波形の場合は表示中の波形のみがファイルに保存されます。



### (2) [保存]をクリックするとファイルへの保存が実行されます。



(ハードディスクに保存したファイルを MS-Excel で読み込み、グラフにした例です)

## 7. 付録

### ショートカットキー

キーボード操作により、以下の操作を実行できます。

キー	概要
1～9,0	チャンネルの表示・非表示の切り替え (CH1～CH10)
Shift+1～6	チャンネルの表示・非表示の切り替え (CH11～CH16)
A	すべてのチャンネルを表示
B	前のページに移動
D	波形表示の縮小率を1つあげる
E	DDS テープを取り出します
F	次のページに移動
I	ファイル情報を表示
J	時間指定ジャンプウィンドウの表示
L	DDS テープのファイルリストを取得します
O	波形データファイルを開く
P	波形ページ選択
Q	9606 データ変換ユーティリティの終了
R	すべてのチャンネルを非表示
S	ファイルに保存
U	波形表示の縮小率を1つ下げる
W	波形アウトラインの表示

### トラブルシューティング

- ・ DAT の設定で、DAT ドライブ一覧に何も表示されない  
SCSI カードが正しく接続されているか確認してください。  
(PC カードタイプの SCSI カードを利用する場合、PC カードをパソコンへ差す前に  
8845 の電源を入れてください)  
DAT ドライブが正しく接続されているか確認してください。
- ・ DDS テープのリストが取得できない、またはエラーが出る  
利用中の DAT ドライブにメディアが挿入されているか確認してください。  
8845 でデータセーブしたメディアであるか確認してください。

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>は米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 保証書

形名 9 5 3 8 9 6 0 6	製造番号	保証期間 購入日 年 月より 1 年間
--------------------------	------	------------------------

この製品は、弊社の厳密なる検査を経てお届けしたものです。万一ご使用中に故障が発生した場合は、お買い求め先に依頼してください。本書記載内容で無償修理をさせていただきます。依頼の際は、本書を提示してください。

お客様      ご住所   〒

ご芳名

TEL

\* 保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

## 保証規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。
  - 1 本書の提示がない場合。
  - 2 取扱説明書に基づかない不適当な取扱い、または使用上の誤りによる故障および損傷。
  - 3 不当な修理や改造による故障および損傷。
  - 4 お買い上げ後の輸送や落とされた場合などによる故障および損傷。
  - 5 外観上の変化（筐体のキズ等）の場合。
  - 6 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障および損傷。
  - 7 消耗部品（乾電池等）が消耗し取換えを要する場合。
  - 8 その他弊社の責任とみなされない故障。
3. 本保証書は日本国内のみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

———— サービス記録 ————

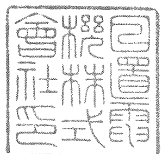
年月日	サービス内容

日置電機株式会社

〒 386-1192 上田市小泉 8 1

TEL 0268-28-0555

FAX 0268-28-0559



■ 外国主要販売ネットワーク



**ARGENTINA**

DRIHM s.r.l.  
TEL +54-1-584-7200/FAX +54-1-584-4400  
E-MAIL : drihm@starnet.net.ar

**AUSTRALIA**

NILSEN TECHNOLOGIES  
TEL +61-3-419-9999/FAX +61-3-416-1312

**AUSTRIA**

UNIVERSAL ELEKTRONIK IMPORT Ges.m.b.H.  
TEL +43-222-5451-588-0 / FAX +43-222-5451-46439  
E-MAIL UEI\_VIENNA@COMPUSERVE.COM

**BAHRAIN**

EBRAHIM AL-SHAKAR & SONS  
TEL +973-225255/FAX +973-227789

**BELGIUM**

HARTOGS (BELGIUM)  
TEL +32-2-56-80-880 / FAX +32-2-56-90-282

**BRAZIL**

PANAMBRA INDUSTRIAL E TECNIA S.A.  
TEL +55-11-242-8222/FAX +55-11-242-8777

**CANADA**

RCC ELECTRONICS LIMITED  
TEL +1-416-979-8212/FAX +1-416-979-1455  
E-MAIL : rcce@rccgroup.com

**CHILE**

INTRONICA S.A.  
TEL +56-232-3888/FAX +56-231-6700

**CHINA, Beijing**

EURO TECH (CHINA) LTD. BEIJING REPRESENTATIVE OFFICE  
TEL +86-10-6762-0936/FAX +86-10-6762-0931

**CHINA, Guangzhou**

EURO TECH (CHINA) LTD. GUANGZHOU REPRESENTATIVE OFFICE  
TEL +86-20-8778-2289/FAX +86-20-8778-2928

**CHINA, Shanghai**

EURO TECH (CHINA) LTD. SHANGHAI REPRESENTATIVE OFFICE  
TEL +86-21-6352-6406/FAX +86-21-6352-7351

**CHINA, Chongqing**

EURO TECH (CHINA) LTD. CHONGGING REPRESENTATIVE OFFICE  
TEL +86-811-385-6178/FAX +86-811-685-9705

**CHINA, Shenyang**

EURO TECH (CHINA) LTD. SHENYANG REPRESENTATIVE OFFICE  
TEL +86-24-252-8977/FAX +86-24-252-8977

**CHINA, Xian**

EURO TECH (CHINA) LTD. XIAN REPRESENTATIVE OFFICE  
TEL +86-29-7804809/FAX +86-29-7804809

**DENMARK**

STRATEGA A-S  
TEL +45-47-38-10-10/FAX +45-47-38-10-20  
E-MAIL : WA@stratega.com

**FINLAND**

NORETRON MEASURING INSTRUMENTS  
TEL +358-0-5259-330/FAX +358-0-5259-3352  
E-MAIL : ari.nissinen@noretron.fi

**FRANCE**

EQUIPEMENTS SCIENTIFIQUES S.A.  
TEL +33-1-4795-9900 / FAX +33-1-4701-1622  
E-MAIL MEI@es-france.com

**GERMANY**

ASM GmbH  
TEL +49-89-611-3026/FAX +49-89-611-1523  
E-MAIL : huenemoerder@asm-sensor.de

**HONG KONG**

(CHINA)EURO TECH (FAR EAST) LTD.  
TEL +852-2814-0311/FAX +852-2870-0479  
E-MAIL : euro-tech@euro-tech.com.hk

**ICELAND**

VOLTI HF.  
TEL +354-1-68-5854/FAX +354-1-68-9974

**INDIA**

MARVEL ENGINEERING COMPANY  
TEL +91-44-827-7774/FAX +91-44-825-7559

**INDIA**

M.V. KARVE & CO.  
TEL +91-22-543-3912/FAX +91-22-536-6115  
E-MAIL : mvko.karve@gems.vsnl.net.in

**INDONESIA**

P.T.SAHABAT INDONESIA  
TEL +62-21-6610651/FAX +62-21-6603700

**IRAN**

SYTELTRONICS ENG. CO., LTD.  
TEL +98-21-874-3834/FAX +98-21-874-3836

**ISRAEL**

ASTRAGAL LTD.  
TEL +972-3-559-1660/FAX +972-3-559-2340  
E-MAIL : astragal@ibm.net

**ITALY**

ASITA s.r.l.  
TEL +39-546-62-0559 / FAX +39-546-62-0857  
E-MAIL asita@asita.com

**KOREA**

TAISHIN CORPORATION  
TEL +82-2-3474-0070/FAX +82-2-3474-0090  
E-MAIL : taishin@interpia.net

**MALAYSIA**

SRI COMM INSTRUMENTS SDN. BHD.  
TEL +60-3-272-3155/FAX +60-3-274-1208  
E-MAIL : sci@pop.jaring.my

**NETHERLAND**

SING. HARTOGS B.V.  
TEL +31-10-29-28-787/FAX +31-10-29-28-765  
E-MAIL : HartogsNederland@compuserve.com

**NEW ZEALANDS**

ING. HARTOGS B.V.  
TEL +31-10-292-8770 / FAX +31-10-292-8765

**NORWAY**

INSTRUTEK A/S  
TEL +47-3312-5622/FAX +47-3312-5750  
E-MAIL : stein@instrutek.no

**PHILIPPINES**

SPARK ELECTRONICS CORPORATION  
TEL +63-2-7240621/FAX +63-2-7232669

**SINGAPORE**

HENSON VIDOC CO. (PTE) LTD.  
TEL +65-339-9380/FAX +65-339-2067  
E-MAIL henvidoc@pacific.net.sg

**SOUTH AFRICA**

TIM CONTROLS  
TEL +27-11-472-3611/FAX +27-11-472-6135  
E-MAIL tim1@global.co.za

**SPAIN**

DISMAI, S.L.  
TEL +34-4-445-5116/FAX +34-4-445-4149

**SWEDEN**

TRANSFER INSTRUMENT AB  
TEL +46-8-732-0240/FAX +46-8-756-2546

**SWITZERLAND**

NEUKOM & DOERR AG  
TEL +41-1-308-6633 / FAX +41-1-308-6635  
E-MAIL sales@neukom-doerr.ch

**TAIWAN**

DON HO & CO., LTD.  
TEL +886-2-595-3355/FAX +886-2-596-4871

**THAILAND**

INDUSTRIAL ELECTRICAL CO., LTD.  
TEL +66-2-642-7887/FAX +66-2-642-4250

**U.A.E.**

NASER AL SAYER & CO.  
TEL +971-4-22-2471/FAX +971-4-66-3972

**U.K.**

TELONIC INSTRUMENTS LTD.  
TEL +44-118-978-6911 / FAX +44-118-979-2338  
E-MAIL BobTelonic@aol.com

**U.S.A.**

COMTEL CORPORATION  
TEL +1-248-358-2500/FAX +1-248-352-2324  
E-MAIL : ComtelCorp@aol.com

**VIETNAM**

VICTORY CO., LTD.  
TEL +84-4-943-1521/FAX +84-4-826-0446

HIOKI 9538 S C S I インタフェース  
9606 データ変換ユーティリティ  
取扱説明書

発行年月 1998年2月 改訂1版  
編集・発行 日置電機株式会社  
販売支援課  
〒386-1192 長野県上田市小泉 81  
TEL: 0268-28-0560  
FAX: 0268-28-0579  
E-mail: info@hioki.co.jp

Printed in Japan 9606A980-01

- ・本書の内容に関しては万全を期していますが、ご不明な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、本社 販売支援課または最寄りの営業所までご連絡ください。
- ・本書は改善のため予告なしに記載事項を変更することがあります。
- ・本書を無断で転載、複製することは禁止されています。

# HIOKI

## 日置電機株式会社

本 社 TEL0268-28-0555 FAX0268-28-0559  
〒386-1192 上 田 市 小 泉 8 1

東北 (営) TEL022-288-1931 FAX022-288-1934  
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8 - 1

長野 (営) TEL0268-28-0561 FAX0268-28-0569  
〒386-1192 上 田 市 小 泉 8 1

東京 (営) TEL048-267-7234 FAX048-261-5790  
〒333-0847 川口市芝中田 2 - 2 3 - 2 4

北関東(営) TEL048-266-8161 FAX048-269-3842  
〒333-0847 川口市芝中田 2 - 2 3 - 2 4

神奈川(営) TEL0462-24-8211 FAX0462-24-8992  
〒243-0016 厚 木 市 田 村 町 8 - 8

静岡 (営) TEL054-254-4166 FAX054-254-3160  
〒420-0054 静 岡 市 南 安 倍 1 - 3 - 1 0

名古屋(営) TEL052-702-6807 FAX052-702-6943  
〒465-0081 名 古 屋 市 名 東 区 高 間 町 2 2

大阪 (営) TEL 06-871-0088 FAX 06-871-0025  
〒565-0085 豊 中 市 上 新 田 2 - 1 3 - 7

広島 (営) TEL082-879-2251 FAX082-879-2253  
〒731-0122 広 島 市 安 佐 南 区 中 筋 3 - 2 8 - 1 3

福岡 (営) TEL092-482-3271 FAX092-482-3275  
〒812-0006 福 岡 市 博 多 区 上 牟 田 3 - 8 - 1 9

お問い合わせは最寄りの営業所または本社販売支援課まで。

9606A980-01 98-02-0004H



本文用紙は再生紙を使用しています。